

それぞれの記事のタイトルをクリックすると
本文[PDF]が開きます。

プラズマ・核融合学会誌

第91巻第9号

2015年9月

解	説	スーパーコンピュータ「京」で切り拓くプラズマ乱流研究の新展開	前山伸也	589
講	座	MHD ダイナモ：流れによる磁場の自発的生成		
		1. MHD ダイナモとは何か	陰山 聡	597
		2. 乱流ダイナモ	横井喜充	603
講	座	宇宙機と宇宙プラズマ相互作用による放電現象の地上実験と軌道上実験		
		1. はじめに	趙 孟佑, 増井博一	612
		2. 宇宙機での放電現象	趙 孟佑, 増井博一	614
		Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		619
		インフォメーション		620
		ITER だより ⁽⁵³⁾		
		核融合炉実現を目指す革新的エネルギー循環工学研究設備完成披露見学会の開催		
		【会議報告】第42回 European Physical Society Conference on Plasma Physics (EPS) / 第32回電離気体現象国際会議 (ICPIG)		
		【人事公募】		
		Plasma & Fusion Calendar		631
		本 会 記 事		632
		第13回高校生シンポジウム「レーザーとプラズマエネルギー ～最先端レーザーを体感」実施報告 / 第32回年会プログラム概要 / プラズマ卓上カレンダー 掲載写真大募集 / プラズマ・核融合学会九州・沖縄・山口支部第19回支部大会 / 代議員候補者推薦のお願い		
		編 集 後 記		

表紙の絵

大型ヘリカル装置 (LHD) では、真空容器内部の定量的な炭素堆積層の評価法として色に着目した研究を行っている。その場測定が可能なハンディカラーアナライザーを用いて、第一壁上にあるステンレス製保護板約500枚の色を測定した。(a)はヘリカルコイル上の展開図、(b)はCAD図上に色を表示したものである。大半径外側では、色が黒に近く堆積優位である。一方、大半径内側では、ダイバータ板近くを除くと、色は白に近く損耗優位であることがわかる。(Gen MOTOJIMA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 10, 1202074 (2015) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。